

令和8年度 九州大学一般選抜（前期日程）国語 出題意図

[現代文1]

野口雅弘『中立とは何か マックス・ウェーバー「価値自由」から考える現代日本』から出題。文章の指し示す内容、筆者が言及する「価値自由」について、適切に理解、表現する力を問う。

[現代文2]

星野太『美学のプラクティス』から出題。文章の指し示す内容、および「美学」という学問に潜在する「矛盾」とその可能性について、筆者の言及に即して適切に理解、表現する力を問う

[古文1]

- 問1 基礎的な古文単語や文法事項を理解し、適切に訳出できるかを問うた。
- 問2 紛らわしい語形の文法的な識別ができるかを問うた。
- 問3 第二段落について、頼義と九郎の会話の内容を適切に読解できているかを問うた。
- 問4 頼義の発言の根拠を、第三段落から適切に読解できているかを問うた。
- 問5 第四段落について、
- ア. 一般論として適切な要約ができるかを問うた。
 - イ. 文脈を踏まえて内容を十分に読解できているかを問うた。

[古文2]

- 問1 ①「からし」、②「ところう」、③「むくつけし」、それぞれ基本古語の理解を問うた。
- 問2 和歌中の「我を帰すな」が訴えたい内容であることを汲み取れるか。また「ぬばたまの」を枕詞と理解して、不要に訳出していないかも確認した。
- 問3 次行に示されている阿闍梨の君の発言を関連づけられるかを問うた。
- 問4 恐怖ゆえの状態であること、およびその恐怖を引き起こした出来事を、順序立てて理解できているかを問うた。
- 問5 注を踏まえて「鬼一口に食はる」の意味合いを理解し、それが阿闍梨の君の発言と対応することを理解できているかを問うた。

[漢文]

『蜃洲餘珠』から出題。基本的な漢文読解の力を問う。